

入札説明書

I 入札全般に関する事項

1 発注担当

広島市立大学事務局教務・研究支援室教育研究支援グループ（広島市立大学本部棟1階）
〒731-3194
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
電話 082-830-1501（直通）

2 調達内容

(1) 件名

広島市立大学情報ネットワークシステム2019 賃貸借

(2) 借入れの内容等

別紙「仕様書」のとおり。

(3) 契約期間

契約締結の日から平成36年（2024年）9月30日まで

(4) 履行期間

平成31年（2019年）10月1日から平成36年（2024年）9月30日まで

(5) 予定価格（月額単価）

16,538,790円（消費税及び地方消費税相当額を除く。）

(6) 設置場所

公立大学法人広島市立大学

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

（サーバ類は、本学が利用する学外データセンター内。）

3 入札区分

(1) 本件業務の入札方式は、総合評価一般競争入札である。

(2) 本件は、紙による入札の案件である。

4 入札に参加する者に必要な資格

次に掲げる入札参加資格をすべて満たしていること。

(1) 公立大学法人広島市立大学契約規程（以下「規程」という。）第3条の規定に該当しない者であること。

(2) 広島市競争入札参加資格の「平成29・30・31年」の「物品の売買，借入れ，修繕及び製造の請負並びに役務（建設コンサルティングサービスに係る役務を除く。）の提供」の契約の種類「物品の借入れ」の登録種目「20-01 コンピューター機器・システム」に登録している者であること。

(3) 広島市内に本店又は支店若しくは営業所を有する者であること。

(4) 入札公告の日から開札日までの間のいずれの日においても、営業停止処分、公立大学法人広島市立大学の指名停止措置又は広島市の指名停止措置若しくは競争入札参加資格の取消しを受けていないこと。

5 入札参加者に求められる義務書類の提出

入札に参加を希望する者は、次により一般競争入札参加資格確認申請書（総合評価一般競争入札用）を提出しなければならない。

(1) 交付方法

広島市立大学のホームページ（<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>）からダウンロードすることができる。

(2) 提出期間

入札公告の日から平成30年11月7日（水）までの土曜日及び日曜日を除く毎日の午前8時30分から午後5時まで

(3) 提出先（送付先）

前記1に同じ。

(4) 提出方法

郵送（配達証明付書留郵便）又は持参とする。

(5) 申込後の辞退

一般競争入札参加資格確認申請書（総合評価一般競争入札用）を提出した後に入札を辞退する場合は、開札までに入札の辞退を届け出ること。なお、開札後の辞退は認めない。

入札辞退届様式は、広島市立大学のホームページからダウンロードすることができる。

6 資格審査及び審査結果の通知

提出された一般競争入札参加資格確認申請書（総合評価一般競争入札用）に基づき、入札参加資格の審査を行い、審査結果において入札資格を有しない場合は、後日連絡する。

なお、一般競争入札参加資格の有無については、入札公告に別の定めがある場合を除き、開札日時を基準とする。この場合において、落札候補者が、開札日以後、落札者の決定日までの間に営業停止処分、公立大学法人広島市立大学の指名停止措置又は広島市の指名停止措置若しくは競争入札参加資格の取消しを受け、又はその他一般競争入札参加資格を満たさなくなったときは、その者のした入札を無効とする。

7 契約条項を示す場所等

(1) 契約条項を示す場所

広島市立大学のホームページからダウンロードすることができる。

(2) 入札説明書、基本仕様書等の交付方法

広島市立大学のホームページからダウンロードすることができる。

ただし、これにより難い場合と広島市立大学のネットワーク図は、次により交付する。

ア 交付期間

入札公告の日から平成30年11月13日（火）までの土曜日及び日曜日を除く毎日の午前8時30分から午後5時まで

イ 交付場所

前記1に同じ。

(3) 基本仕様書等に関する質問

ア 基本仕様書等に関する質問がある場合は、次により、仕様書等に関する質問書を提出すること。

なお、仕様書等に関する質問書様式は、広島市立大学のホームページからダウンロードすることができる。

(ア) 提出期間

入札公告の日から平成30年11月7日（水）までの土曜日及び日曜日を除く毎日の午前8時30分から午後5時まで

(イ) 提出先（送付先）及び問い合わせ先

前記1に同じ。

(ウ) 提出方法

郵送（配達証明付書留郵便）又は持参とする。

イ 前記アの質問に対する回答は、質問を受けた日の翌日（翌日が、公立大学法人広島市立大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程第7条第1項に規定する休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い同項各号に掲げる日でない日）以後において、次のとおり閲覧に供する方法で回答する。

(ア) 閲覧期間

入札公告の翌々日から平成30年11月29日(木)までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日の午前8時30分から午後5時まで

(イ) 閲覧場所

前記1に同じ。

8 入札の方法

- (1) 入札金額は、月額単価を記載すること。
- (2) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8パーセントに相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (3) 落札者の決定は、総合評価一般競争入札で行うので、提案に係る書類等(以下「提案書等」という。)を入札書と同時に提出すること。

9 入札書等の提出方法

- (1) 入札書等の提出方法
入札書及び提案書等(以下「入札書等」という。)は、持参すること。郵送、電送等その他の方法は認めない。

- (2) 委任状
代表者及び届出代理人(代表者から継続して委任を受けている旨の届出がされている者)(以下「代表者等」という。)でない者が、当該入札において代理人(届出代理人から委任を受けている復代理人を含む。)として入札する場合は、代表者等からの委任状を提出すること。

代理人として入札する場合は、入札書等の住所氏名欄の記載は次の例のとおりとなるので、注意すること。

(入札者住所氏名欄の記載例)

〇〇市〇〇町〇番〇号
〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
上記代理人 〇〇 〇〇 印

なお、委任状様式は、広島市立大学のホームページからダウンロードすることができる。

- (3) その他
入札書等の提出後は、入札(開札)日時前であっても、提出された入札書等の書換え、差換え又は撤回等は一切認めない。

10 入札、開札の日時及び場所

- (1) 入札日時 平成30年11月29日(木) 午前10時00分
- (2) 開札日時 入札締切後、直ちに行う。
- (3) 場 所 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
広島市立大学本部棟2階 会議室1
- (4) 開 札

- ア 入札参加者は開札に立ち会うものとする。ただし、立ち会うことができる者は、1名とする。
- イ 開札結果は、入札の有効、無効のみ発表する。

11 落札者の決定

本入札は、総合評価一般競争入札により行うので、提案書等の内容を後記(6)の広島市立大学情報ネットワークシステム2019貸借総合評価審査委員会で公平かつ客観的に評価した上で、入札価格の評価を加算し、総得点の最も高い入札参加者が落札者となる。詳細は、「Ⅲ 落札者決定基準」を参照のこと。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあるとして、著しく不相当であると認められるときは、予定価格の範囲で発注者の定める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち、評価点の最も高いものを落札者とすることがある。

なお、落札者の決定は、平成30年12月中旬を予定している。

(1) 入札参加者が1者の場合の取り扱い

入札者が1者の場合でも、2者以上の場合と同様に、本入札説明書に従って入札されている場合には、提案内容及び入札価格等に評価点を与え落札者を決定する。

(2) 落札者が契約を締結しない場合の措置

落札決定後に落札者が、契約の辞退をするなど契約を締結しないときは、規程第3条の規定により3年間の資格取消しを行う。また、契約予定金額に12か月を乗じて得た額の5パーセントに相当する額（円未満切捨て）の損害賠償金を請求する。

(4) 落札結果の通知

落札結果は、入札参加者全員に通知する。

(5) 入札参加者の入札価格等の公表

全ての入札参加者の商号、入札価格、価格及び価格以外の要素の点（以下それぞれ「価格点」、「技術点」という。）は、落札者決定後これを公表する。

(6) ヒアリング等の実施

落札者決定基準による評価については、提出された提案書等に基づいて行う。提案書等に関するヒアリングは平成30年12月中旬実施予定であり、詳細な日程等は、開催日の2日前までに通知する。ヒアリングは、「広島市立大学情報ネットワークシステム2019 貸借借総合評価審査委員会」の委員からの質疑の形態とする。

なお、ヒアリングを欠席した者については、技術点の評価を行わない。

(7) 広島市立大学情報ネットワークシステム2019 貸借借総合評価審査委員会

本入札に関して、落札者決定基準に関する事、提案書等の審査・評価に関する事及び落札者の決定に関する事等を審査するために、広島市立大学情報ネットワークシステム2019 貸借借総合評価審査委員会を設置している。委員は次のとおりである。

- ・ 情報担当副理事
- ・ 情報科学研究科准教授 岩田 一貴
- ・ 国際学部准教授 吉江 貴文
- ・ 情報科学研究科教授 前田 香織
- ・ 芸術学部准教授 志水 兎王
- ・ 附属図書館長
- ・ 事務局総務室長
- ・ 事務局教務・研究支援室長

12 その他

(1) 契約手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金

免除する。

(3) 入札回数等

入札回数は、1回限りとし、この結果、有効な入札がない場合は、入札を打ち切る。

(4) 契約保証金

契約を締結する場合においては、契約締結日までに月額単価に12か月を乗じて得た額（以下「年額相当額という。」）の100分の10以上の契約保証金を納付しなければならない。ただし、保険会社との間に公立大学法人広島市立大学を被保険者とする履行保証保険を締結して、公立大学法人広島

市立大学に提出したときは、契約保証金の納付を免除する。この場合において、履行保証保険が当初2か年度の履行期間（契約締結日から履行開始日の前日までの期間を含む。）までをその保険期間とするものであるときは、その提出の際に、当該履行保証保険の満了日から起算して7日前の日（当日が休日の場合は、休日でない前日）までに、残余年度の履行期間について、これを保険期間（2年度を上限とする。）とする新たな履行保証保険を締結して提出すること、又は当該7日前の日までに年額相当額の100分の10以上の契約保証金を納付することの誓約書を提出しなければならない。当該期限までに、新たな履行保証保険を締結して提出しないとき、又は契約保証金を納付しないときは、直ちに契約を解除する。その後の残余年度の履行保証保険についても、同様とする。

なお、履行保証保険契約の締結に当たっては、事前に保険会社の審査が必要であり、特に履行期間が複数年の場合は審査に時間を要するため、落札決定後や契約締結日になって初めて保険の申込みをすると保険の締結ができない場合があることから、必ず事前のできるだけ早い時期に保険会社と相談しておくこと。

(5) 契約書の作成等

ア 落札者は、落札決定した日から5日以内の日（最終日が、公立大学法人広島市立大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程第7条第1項に規定する休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い同項各号に掲げる日でない日）に契約書を取り交わすものとする。

イ 落札者が前記アまでに契約書の取り交わしをしないときは、落札の決定を取り消すとともに、公立大学法人広島市立大学の競争入札参加資格を取り消す。また、落札決定を取り消された者は、契約予定金額に12か月を乗じて得た額の5パーセントに相当する額（円未満切捨て）を支払うものとする。

ウ 契約書は2通作成し、本法人及び落札者がそれぞれ、記名・押印の上、各1通を保有する。

エ 契約書の作成に要する費用は、すべて落札者の負担とする。ただし、契約書用紙は、本法人が交付する。

(6) 契約事項

契約書（案）のとおり

(7) 入札の中止等

本件入札に関して、天災地変があった場合、入札参加者の談合や不穏な行動の情報があった場合など、入札を公正に執行することができないと判断されるときは、入札の執行を延期又は中止することがある。

(8) 入札の無効

次に掲げる入札は、無効とする。

ア 本件公告に示した入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札及び開札日以後、落札者の決定日までの間に営業停止処分、公立大学法人広島市立大学の指名停止措置又は広島市の指名停止措置若しくは競争入札参加資格の取消しを受け、又はその他一般競争入札参加資格を満たさなくなった者がした入札

イ 資格確認申請書等の書類に虚偽の記載をした者がした入札

ウ 入札金額を訂正したもの

エ 前記2(5)の予定価格を上回る額の入札

オ その他規程第7条各号のいずれかに該当する入札

(9) 注意事項

ア 資格確認申請書や提案書等について虚偽の記載をし、その他不正の行為をした場合は、失格、指名停止、その他の措置を講ずることがある。

イ 落札者決定基準に定めた評価項目、評価基準以外のもので評価することはない。

ウ 入札に参加しようとする者は、広島市立大学情報ネットワークシステム2019貸借借総合評価審査委員会の委員の選任後から本契約案件の落札者決定の公表までの間において、本契約案件に関して、直接、間接を問わず、自らを有利に、又は他者を不利にするように働きかけることを禁ずるものと

- し、この禁止事項に抵触したと認められる場合には、入札参加資格を失うことがある。
- エ 落札者の提案書の内容については、契約書の一部とする。また、提案書に記載した事項の変更は、原則として認めない。
- オ 入札参加資格確認申請書、提案書等として提出する書類の作成及び提出に必要な費用は入札参加者の負担とする。

II 提案書等作成要領

1 提案書等として提出する書類

本入札に係る提案書等として以下の書類を提出すること。

- (1) 提案書：本書1部及び写し9部
 - ア 別紙「技術評価基準」の各評価項目を審査する際に参考とするための提案書を作成し提出すること。なお、表紙及び提案を求める事項対応表を除き、様式は任意とする。
 - イ 提案書の本書は、入札書に記載する商号や代表者名等を表紙に記載し、入札書に押印する印鑑と同一のものを使用して押印の上で提出すること。
 - ウ 提案書の写し（9部）については、提案内容を公平かつ客観的に評価するために、商号等の記載及び押印はしないこととし、また、当該提案書の内容を記録したCD-ROMを1枚作成して提出すること。
- (2) 仕様対比表：本書1部及び写し9部
 - 別紙「仕様対比表」の「納入予定物品等の特質等」に、仕様書の全ての項目に対する納入予定物品等の仕様について記入すること。
- (3) 仕様書の機能を満たしていることを示すカタログ等の公表物：本書1部及び写し9部
 - 該当箇所が分かるよう付箋の貼付等すること。
- (4) 導入予定機器一覧：本書1部及び写し9部
 - 別紙「導入予定機器一覧」に導入予定の機器等を記載すること。
- (5) ネットワーク接続構成図（導入予定機器を学内ネットワークにどのように繋ぐかを示した接続構成を示すこと。広島市立大学のネットワーク図の交付方法についてはIの7(2)のとおり。）：本書1部及び写し9部
- (6) 上記項目を補足する資料がある場合はその資料：本書1部及び写し9部
- (7) 提案を求める事項対応表：本書1部及び写し9部
 - 別紙「技術評価基準」の各評価項目について、提案書に記載したページ並びに付属資料がある場合は、資料名及び付属資料のページを備考欄に記載すること。

2 留意事項

- (1) 提案書等の記述は日本語とする。ただし、一般的に認知されている商標や略称等は除く。
- (2) 総合評価一般競争入札では、入札参加者から提出された提案書等に基づき評価を行い、記載内容に応じて点数評価するため、入札参加者の提案内容が理解しやすいよう簡潔に記述又は図示すること。
- (3) 落札者の提案内容は、本契約の追加仕様として添付するので、提案に当たっては入札書に記載した金額の範囲内で実現可能なものを記述すること。
- (4) 提案内容において基本仕様書等がない追加事項等がある場合、入札書に記載した金額に含まれる経費として全て落札者の負担とする。

III 落札者決定基準

入札参加者から提出された入札書及び提案書等を評価し落札候補者を決定する。

1 落札候補者

- (1) 価格点と技術点を合計し、最高得点となった者を落札候補者とする。
- (2) 最高得点となった者が2名以上いる場合は、技術点が最も高い者を落札候補者とする。
- (3) (2)に該当する者が2名以上いる場合は、該当者のくじ引きにより落札候補者を決定する。

2 価格点

価格点は300点満点とする。

入札参加者それぞれの入札価格と予定価格とを次式により計算し、価格点を算出する。

$$\text{価格点} = 300 \times \left(1 - \frac{(\text{入札価格} - \text{入札最低価格})}{\text{予定価格}} \right)$$

小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位表示とする。

3 技術点

技術点は900点満点とする。

提案書について、「技術評価基準」の評価に応じて、「配点」欄の点を最大として加点する。**なお、「仕様書」については、全て実施することとし、1つでも実施できない場合は、合計点に関わらず、失格とする。**